



エム・エス・ケー農業機械株式会社

る〜ぱ^oLight

#04

特集

巻頭特集

GPSセクションコントロール搭載の
KUHNブームスプレーヤーによる
防除作業の効率化へ向けた挑戦

生産の現場から ▶ 有限会社小林牧場





CONTENTS



る〜び°^{Light}

04

巻頭特集 * GPSセクションコントロール搭載のKUHNブームスプレーヤーによる 防除作業の効率化へ向けた挑戦	03~05
* REPORT 生産の現場から 有限会社 小林牧場	06~07
営業所紹介 * 道東支社 標茶営業所	08~09
新入社員紹介 * 2020年度 14人の新入社員が入社しました!	10~11

Products and Solutions 製品情報

* THE NEW MF5700S & 7700S	12
* PRECISION SPRAYING KUHN スプレーヤーレンジ	13
農業情勢 * 海外事情から知るニッポン農業 〜南極でもキュウリやレタスが採れる! 有人火星探査の実現も植物工場がサポート〜	14
ニッポンの食材 * キャベツ	15



GPSセクションコントロール搭載の K^{クーン}UHNブームスプレーヤーによる 防除作業の効率化へ向けた挑戦

防除作業は作物の成育に合わせ適期に実施が必要で、天気良くても、風などの影響を受けるため、風の弱まる時間帯に短時間で作業を行う必要があり、精神的にも肉体的にも、大きな負担がお客様にかかります。

その作業を効率化し、質の高い作物を生産するため、GPSガイダンスシステムと大容量スプレーヤーを連動させて作業を可視化するプロジェクトを開始しています。



適期防除の高いハードル

防除は適期の実施が効果とコストの両面で重要ですが、実際は天候や風の有無などの条件に左右されやすく、適期防除を実施するには、朝、夕のごく限られた時間が適時となります。また圃場面積が広いほど大容量タンクを備えた、ブームの長いスプレーヤーが適していて、その場合けん引タイプとなる事が一般的でした。一

方、大小様々な圃場に対応させたい場合は、直装タイプのスプレーヤーが適しているのですが、重量バランスの関係からタンクの容量が限られるため、薬剤・水の補給場所と圃場の往復が何度も発生し、大きな時間のロスにつながってしまいます。また、お客様の中には離れたところに圃場を点々と持つ方も多く、その移動時間

が作業の負担をさらに大きくしています。

それらの問題を解決するために、直装式のブームスプレーヤーでタンクの容量を大きくする方法がないのかと社内で検討を重ねた結果、フランスの総合作業機メーカーKUH^{クーン}N社の製品「ALTIS2」と「PF1500」を組み合わせる導入を開始しました。

直装式ブームスプレーヤー「ALTIS2」の特長

「ALTIS2」はトラクター後方に接続する直装式のブームスプレーヤーで、最下2,000Lの大容量タンクを搭載可能です。フレームは新設計でトラクターの近くに重心を持たせた事により、満水時に起伏のある道路を走行した場合でも安定性の確保が可能です。

給水作業はとてもシンプルで、タンク左側にバルブ切り替え操作部が集

約され、薬剤の供給や給水などを行うためにタンクに上る必要はありません。薬剤と水は専用のミキシングタンクで混和し、正確な濃度の薬液を素早く作ることが可能です。

また、作業幅・サスペンション等お客様のニーズに合わせたブームを選択できます。

今回導入したMEA3ブームは3段階折り畳み・展開が可能です。

おすすめの仕様はアルミブーム仕様で3DサスペンションEQUILIBRA™(エクイリブラ)により枕地回転時や増速・ブレーキ時にブームの鞭打ち現象を和らげます。さらに左・真ん中・右に装着された超音波センサーによる自動追従制御により、傾斜地等でアームが地面に接触するのを防ぎます。

フロントタンクと組み合わせ連結することで大容量化を実現

トラクター前方には、フロントタンク「PF1500」を装着し、前後のタンクは1本のフレキシブルパイプで連結させることが可能です。このタンクは1,500Lの容量があり、「ALTIS2」と組み合わせる事で合計3,500Lの容量になります。結果、直装式スプレーヤーでもけん引式スプレーヤーに匹敵する容量が確保でき、給水時間を短縮

することができます。

また、運転席からの視界性も良く、運転操作を妨げないほか、LEDヘッド

ライトを装備しているため夜間移動の安全性も確保しています。



PF1500とKUHN ALTIS2を連結搭載したトラクター

ALTIS2



メインタンク容量	2,000L
洗浄用水タンク容量	230L
薬剤混和用タンク容量	35L

- ・電動ジャイロウォッシャー(360度回転ノズル)
- ・リンスアシストシステム
(スプレーヤー洗浄を切替バルブでコントロール)

PF1500



メインタンク容量	1,500L
洗浄用水タンク容量	190L

- ・電動移送ポンプ搭載
- ・360度回転式ジャイロクリーナー×2
- ・LEDヘッドライト・方向指示灯

GPS ガイダンスシステムとの連動

走行のガイドや自動操舵・作業面積の確認のために、農業用GPSガイダンスシステムの普及が進んでいます。精密作業の実施や作業データを蓄積し活用することは、これから一層人手が少なくなる中で省人化の実現と、精密作業により品質・収量を向上していく上で不可欠となっています。また、耕起、整地、施肥などにおいても、GPSガイダンスシステムと連動した機器を導入する生産者が増えていて、最近は防除作業においてもこの傾向が見受けられます。それから、お客様がお使いのガイダンスシステムとALTIS2を連動させて使用することも可能です。(※連動させて使用できるガイダンスシステムについては事前に動作確認の問い合わせが必要になります。)今、お使いの圃場データをそのまま利用する事も可能です。

GPSガイダンスシステムのメリットは薬剤をしっかりと圃場に行き届かせることや重複撒きの防止による農薬の節約効果で、コスト削減と環境へ配慮した農業を実現できることです。当社ではKUHNブームスプレーヤーとGPSガイダンスシステムを連動させたキットでお勧めしています。お客様の効率の良い防除作業実現に貢献していきます。



GPSガイダンスシステム(左)とKUHN ALTIS2の制御パネル(右)

MEA3



ブーム幅	20m、21m、24mの3種類
折り畳み時高さ	3.35m
重量	約300kg

- ・3本の折りたたみアルミニウム製ブーム
- ・EQUILIBRA™(エクイリブラ) 3Dサスペンション搭載
- ・前後・下側の保護機構、スプリング式安全装置



Key Person's Eye

～担当社員より～



道央支社 道央営業所 営業担当 櫻井 一貴

入社2年目でKUHN ALTIS2・PF1500の納品に携わりました。機器やGPSの設定は多種多様かつ応用知識が求められ、当初は不安でしたが、本社や営業所のスタッフの助けで乗り越えられました。今もお客さまから問い合わせのたびに勉強し、お答えする日々です。導入前の防除作業を見た時は、なんと大変な仕事なのだろうと感じました。フロント、リアのコンビネーションで大容量を可能にしたKUHN社製のスプレーヤーで、その労力軽減の助けになればうれしいです。



営業本部 営業推進部
営業推進チームリーダー
木島 真人

防除は適期を外すことができません。早朝や夜間の風の影響が少ない時間帯に作業を行うお客様が多く、短時間で効率的な作業が求められます。

普及を進めるには専門的な知識を身に付けた社員をもっと増やす必要があり、さらにトラブル対応などの体制づくりも急務です。働き方改革の中での労務管理の難しさはありますが、お客様に安心してご使用いただくためにもチーム一丸で体制を構築していきたいと思っています。

今回ご紹介させて頂きましたKUHN社製のスプレーヤーは、GPSガイダンスと連動しセクションコントロールが可能になっています。お客様のご使用中のガイダンスとの連携については、事前に販売担当者までお問合せください。





REPORT

生産の現場から

有限会社 小林牧場

KUHN ALTIS2、
PF1500を実際に
使用しているお客様に、
機械導入の経緯や
使用感などを伺いました。



広大な野幌原始林の南側で自家製飼料による良質な牛乳を生産

札幌市の住宅街を抜けた先、森に囲まれた牧場が現れます。北海道江別市にある小林牧場は、道立自然公園野幌森林公園に面した丘の上に立地します。総頭数540頭の牛(乳牛260頭、未經産牛270頭、和牛10頭)を7名の従業員と共に飼育しています。牛乳出荷量は年間2,700tで、道央圏では規模の大きな牧場です。

牧場近隣の圃場では、有機農法で質の良い土を作り、牛の飼料となるデントコーンや牧草を自家生産しています。精魂込めて作った良質な餌により健康な牛が育まれ、結果、風味のさわやかなおいしい牛乳の生産へとつながっています。

良質な飼料を作るための畑の総面積は185ha(デントコーン70ha、牧草115ha)その規模に至るまでには大きな苦労があったと小林紀彦代表取締役社長は話します。「先代は札幌市厚別区で牧場を営んでいましたが周辺の宅地開

発が進んだので、1981年にこの場所に移転しました。当時はここも原生林の真ん中。少しずつ開墾して畑を作っていたのです。その後、1990年に私が後を継いでからは、牛の頭数を増やし牧場を拡大していこうと土地の購入を進めていきました。ただ近隣は住宅街で、さらに野幌森林公園もあるため一続きの土地を手に入れるのは難しい。数haの土地をこまめに買って、30年かけて今の規模まで拡大してきました。圃場は原生林の中なので、三角形やひょうたん型など変形の畑が多く、効率よく作業するためには様々な工夫が必要です。

広い面積の圃場もあり作業を少人数で効率的に行うために大型機も含め先進的な機械の導入をしました。また、最も遠い圃場は8km離れた長沼町にあり、一般道をトラクターで移動しなければならず、安全にも十分な配慮が必要です」



小林紀彦代表取締役社長



小林牧場の生乳を100%使用した
新札幌乳業オリジナルブランド「小林牧場物語」

新たなスプレーヤーの導入により効率が上がり、作業時間が半減

防除作業には大きな労力がかかっており、この土地ゆえの悩みもありました。「以前使っていたスプレーヤーの容量は1,500L。この容量では一度の作業で1.5ha分しか散布できません。給水のために畜舎のそばの水道まで戻らないといけないので、デントコーンの圃場全部に撒くとなるとおよそ46往復の移動が必要でした。ここ最近干ばつで土壌処理の除草剤が効かず、葉面散布が必要になったのですが、デントコーンの防除適期は牧草がすごく忙しい時期。どちらの作業もおそろかになると困ります。

容量の大きいスプレーヤーが欲しいと思いましたが、けん引式の機械を引っ張って、交通量の多い道路を往復するのはトラブルが心配。そこでエム・エス・ケーに相談をしてみたのです。『直装式で大容量のスプレーヤーがありますよ!』と勧められたのが、ALTIS2とPF1500でした」

導入によって以前のスプレーヤーと比べると倍以上の量を一度に運べるようになり、圃場の往復回数は大きく減りました。「今まで、朝から晩まで作業しても10日間かかっていたのが5日間で終わります。トラクターでの往復が半分に減って、体力的

にも気持ちの面でもとても楽になりました」と小林代表は導入効果を感じています。ほかにも、以前は薬剤をスプレーヤーに投入する時タンクに登って上から投入する必要があったのが、側面の薬剤ミキシングタンクから投入できるのも作業を楽にしたといいます。

また、ブームから突出した散布ノズルは壊れやすいポイントでしたが、新スプレーヤーのアームにはノズルを保護するフレームがあります。斜面などの走行時にブームが傾いてもノズルが壊れにくくなったことも、作業効率を上げていると小林代表は話します。「ブームが地面に触れる前に自動制御で上がる装備もあります。ただ、このセンサーの感度は設定し直したいポイントで、エム・エス・ケーに相談したいと思います」



軽量のアルミニウムのブームは3Dサスペンションによりしなやかな動きで先端のセクションは外部からの衝撃に対し、ブレイクバックする構造



スプレーヤー側面に備わる薬剤ミキシングタンク

GPS ガイダンスシステムとの連動で正確な作業が可能に

小林代表がさらに効果を感じているのは、GPSガイダンスシステムとの連動です。「GPSは以前から使用しており、さらに牧草の追播のために更新したばかりで、もっと活用したいと思っていました。スプレーヤーと連動可能ということで、導入の際に設定をお願いしました。薬を二重に撒かないよう機械が自動制御して、一度撒いた場

所は止まるので助かります。GPSで変形畑の正確な面積がわかったので、除草剤の適正な量を計算できるのも、過剰に撒いたり、足りなかったりという非効率をなくしています。やっぱり除草剤はやりすぎると毒だと思うので、適正な量を使えるのはいい。機械の導入費用は正直高かったけれども(笑)」と小林代表。GPSガイダンスシ

ステムの活用には大きな興味があり、今後は牧草の防除作業にも使用していくほか、更新する予定のプロードキャスターとの連動も考えているそうです。専門的な知識が必要となる部分は、エム・エス・ケーとの連携で進めていきたいと話します。

良い農機を効果的に使うため、課題のブラッシュアップが必要

大規模畜産農家や、人手の足りない生産者は、飼料生産にまつわる作業をコントラクター業者に依頼するところも増えてきています。しかし北海道の中でも大規模生産者が多い十勝や道東とは異なり、道央地域ではコントラクター事業は盛んではありません。「全ての作業を自力でやらなければいけません。少人数で作業を確実に進めるには、機械を効率よく使用することが大切です。農機は使っていれば故障するし、初めて使う機械は自力で対処できない

ことがあったりします。今回の機械にも、導入時に思ったように動かないトラブルがありました。でも、すぐ修理したいという時にエム・エス・ケーは来てくれる。うちがエム・エス・ケーからトラクターを初めて購入したのはもう56年前になりますが、その間きちんと対応してくれた信頼があります」と小林代表は話します。

新しい機械を使っの作業は、ワクワクやドキドキがいっぱいです。また日々、疑問や

課題が生まれます。お客様からいただく「ありがとう」や、「楽になったよ」という言葉が私達の「より良いサービスを提供したい」というモチベーションになっています。(MSK)





Business office
営業所紹介

Business office
営業所
だより



Hokkaido Shibecha-cho



道東支社 標茶営業所

標茶町は北海道の東側に位置し人口より牛の頭数が多い街で有名です。面積は1,099.56 km²。
町を南北に釧路川が流れ、南部には日本最大の湿原(面積2万6000ha)釧路湿原があります。
自然豊かで風光明媚な場所です。

現在、標茶営業所は営業3名、サービスマン4名、事務員1名、計8名で業務を行っています。
お客様のニーズに応えるべく所員一同日々の業務に邁進しております。



標茶営業所長の塚本(左から4人目)は10月1日に十勝支社南部営業所に異動しました。



新任所長のご挨拶

10月の異動にて着任致しました、
清水芳弥と申します。

今まで各地で仕事をさせて頂いた
お客様、お世話になった人達へこの
場をお借りし感謝申し上げます、あり
がとうございました。

近年、機械の大型化・人手不足・
働き方改革・コロナ禍、色々な事が
変化していく中、「拓く 支える 実りを
未来を」を目指し地域農業に貢献して
いきたいと考え、所員一同協力して
参りますので、ご指導よろしくお願い
いたします。

みんなのご当地紹介 標茶編

おすすめ店紹介



木のみ

標茶駅から徒歩4分のところにある居酒屋さんです。

営業所の飲み会で何うことも多く、地元の方で賑わっているお店です。お酒のおつまみメニュー以外にも鍋やお食事メニューも充実しているので、お酒を飲まない方やお子様にもおすすめです。どれも家庭的な味付けで、ゆったりと楽しめます。メニューの中には地元で作られたお豆腐やお肉もあるので、標茶の味を楽しむこともできます。ホテルのすぐ隣にあるので、標茶に来られた際は『木のみ』さんで夜はのんびり楽しんでください。ちなみに店名の『木のみ』はお店立ち上げ当初、ママのお友達で女優の倍賞千恵子さんに書いていただいたそうです。



おすすめ観光スポット

多和平(たわだいら)

広大な標茶で360°の地平線が見渡せる牧場です。こちらの牧場には全国から預けられた、育成牛や羊、馬がのびのびと暮らしています。キャンプ場も併設され、夜空に満天の星空を見ることができます。元旦には地平線から昇る初日の出を見ることができ、ご来光を拝めた時はとても感動します。

期間限定で『グリーンヒル多和』という特産品コーナーやレストランもあり、標茶牛を使ったメニューや多和平のサフォークをバーベキューでいただけるコーナーもあります。



営業所のホープ社員紹介

高橋 良太さん

入社2年目の高橋です。営業所のある標茶町出身で酪農学園大学を卒業後、2019年の4月に入社しました。入社後は本社での研修や営業の先輩、サービス担当の方との同行を通して一年間学びました。現在は鶴居村や白糠町など釧路近辺地域を担当しています。今はまだわからないことも多くお客様に教えてもらったり、営業所の方に助けをもらいながら、早く仕事やお客様のことを覚え、信頼を得られるようにと頑張っています。プライベートでは基本インドアな性格なため室内で過ごすことが多いですが、営業所にはキャンプや釣りが趣味な方もおり、自分も何か新しく始めてみようかと考えています。こんな私ですがよろしく願い致します。





2020年度

14人の新入社員が 入社しました!

集合写真



入社式の
様子



研修風景





Name | 牛渡 達也 うしわたり たつや



北海道
出身

趣味・特技等 → 楽器演奏・音楽鑑賞

農業機械のことも覚えることが多いですが、先輩方からたくさん学べるように、一所懸命に頑張りますのでよろしくお願いいたします!

Name | 片石 聖 かたいし せい



北海道
出身

趣味・特技等 → 料理・YOSAKOI

まだまだ農業・農機について知らないことが多いので、早く知識を身に付けてお客様に貢献できるよう頑張ります。

Name | 朝倉 幸太 あさくら こうた



北海道
出身

趣味・特技等 → 麻雀・ポケモンGO

MSKの社員として、今後携わる方々から農業について学び取り、会社の戦力になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

Name | 岩泉 志 いわいずみ ゆうき



北海道
出身

趣味・特技等 → ゲーム・スポーツ

やる気と根気だけあります! いろいろ学んでこれから会社に貢献できるような人間になれるように頑張ります。

Name | 佐々木 翔 ささき しょう



北海道
出身

趣味・特技等 → カラオケ・ランニング・競馬

農業に関しては無知の状態でした。先輩社員のノウハウを吸収し、実践し一日でも早く戦力になれるように頑張ります。将来MSKの佐々木に任せたら間違いないと思われるような社員になれるように日々頑張ります。

Name | 松田 勇流 まつだ たける



千葉県
出身

趣味・特技等 → 楽器演奏

まだまだ分からないことだらけですが、精一杯学んでいけるように頑張ります。

Name | 須原 大樹 すはら ひろき



北海道
出身

趣味・特技等 → ランニング

今現在知識は誰よりも少ないのですがコミュニケーション力には自信があるのでどんどんアピールし分からないことは積極的に先輩方に質問し自分に知識を付けたいです。



Name | 溝口 幸佑 みぞぐち こうすけ



北海道
出身

趣味・特技等 → ドライブ

農機、農業とわからないことだらけですが、新しい環境ということを感じながら若さを活かして頑張っていけたらと思います。よろしくお願いいたします。

Name | 中山 太貴 なかやま たいき



北海道
出身

趣味・特技等 → バイク

一日でも早く戦力になれるよう、日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。

Name | 高森 大將 たかもり ひろまさ



北海道
出身

趣味・特技等 → ラジコン

農業に関する知識がほぼ無知で先輩方にご迷惑をかけてしまうかと思いますが、これから頑張りますのでよろしくお願いいたします。

Name | 中野 魁 なかの かい



鹿児島県
出身

趣味・特技等 → バレーボール・筋トレ・読書

やる気のonとoffがはっきりしてます! 先輩の背中を見て早く一人前になれるようにでき、できないこと何でも挑戦したいと思います。

Name | 棚橋 一心 たなはし いっしん



岐阜県
出身

趣味・特技等 → 観劇

一つ一つのことを正確に覚え、お客様に満足いただけるように一所懸命頑張っていきたいです。

Name | 石澤 良磨 いしざわ りょうま



北海道
出身

趣味・特技等 → バスケットボール

覚えることがたくさんありますが、頑張ります。

Name | 星 卓実 ほし たくみ



北海道
出身

趣味・特技等 → 料理

高校では農業科に所属して農業の知識はありますがトラクターなど機械類の知識はほとんどなく覚えることが多いですが講師の方や先輩方の話をよく聞きこれからの仕事に活かせるよう頑張りたいです。





Products and Solutions
製品情報



MASSEY FERGUSON

MF 5709S

Dyna4



THE NEW **MF5700S & 7700S**

**4気筒と6気筒に
1ランク上のトランスミッションを搭載。** (台数限定)

MF 7715S

Dyna6



Massey Ferguson 5709S ESD4

Engine: AGCO POWER 4.4ℓ 4 Cylinder Tier 4 Final
Power: 90.3PS Transmission: Dyna-4 32段

Massey Ferguson 7715S ESD6

Engine: AGCO POWER 6.6ℓ 6 Cylinder Tier 4 Final
Power: 168.6PS Transmission: Dyna-6 48段

※写真は海外仕様で一部日本仕様とは異なります。



PRECISION SPRAYING

KUHN スプレーヤーレンジ

METRIS2



OCEANIS2



LEXIS



OPTIS



OMNIS



直装式	タンク容量 (ℓ)	ブーム幅 (m)
OPTIS	600/800/ 1,000	9-16
OMNIS	800/1,000/ 1,200	12-15
DELTIS2	1,300	14-24
ALTIS2	1,500/1,800/ 2,000	14-28
けん引式	タンク容量 (ℓ)	ブーム幅 (m)
LEXIS	2,000/3,000	18-28
METRIS2	3,200/4,100	18-38
OCEANIS2	5,000/5,600/ 6,900/7,700	18-48

DELTIS2



ALTIS2



be strong, be **KUHN**
www.kuhn.com



※写真は海外仕様で一部日本仕様とは異なります。





GLOBAL TOPICS

海外事情から知る ニッポン農業

南極でもキュウリやレタスが採れる！ 有人火星探査の実現も植物工場がサポート

土を使わず、植物に必要な養分を溶かした水（培養液）だけで農作物を育てる「水耕栽培」。この技術を用い、光、温度、湿度などの環境条件を高度に制御した生産システムが「植物工場」です。台風や猛暑など天候の影響を受けにくい、無農薬で栽培できる、周年栽培が安定的にできるとして、世界各国で多くの企業が植物工場事業に参入しています。また、南極や宇宙空間など、過酷な環境下での食糧生産を可能にする方法として、実証研究が進んでいます。

植物工場には2つのタイプがあります。1つは、温室に近い環境で、太陽の光を基本としながら人工光で補うなどする「太陽光利用型」。もう一つは、完全な閉鎖環境で、太陽光を用いずに人工の光のみを用いる「完全人工光型（完全制御型）」です。完全人工光型の植物工場は、LEDなど光源の技術が進んだことによって、2010年代後半から急速に発展してきました。

世界各国が観測基地を設けている南極では、観測隊員の食事に新鮮な野菜を取り入れようと、古くから水耕栽培での野菜づくりが試みられてきました。アメリカの南極基地では、1992年から実験的に葉野菜を栽培。その後、本格的な研究施設を作り、トマトなどの果菜類の栽培も開始しました。日本の昭和基地でも、2009年には本格的な自動制御装置を持ち込んでの水耕栽培に挑戦しています。この頃は、高圧ナトリウムランプや蛍光灯などを利用していました。

2018年にはドイツの研究チームが、南極に設置したLEDによる完全人工光型植物工場で野菜を生産。レタス、キュウリ、ラ

ディッシュなどを収穫して話題となりました。この研究は、最終的には宇宙空間での作物栽培を目的としているものです。

宇宙での食糧生産は、アメリカ、ロシア、中国などが早くから研究に着手してきました。ここでも、活躍しているのは植物工場システムです。

NASAは2002年から国際宇宙ステーション（ISS）で人工光型植物工場による栽培実験を行っています。2013年からは植物工場システム「Veggie」において、宇宙飛行士が宇宙に長期間滞在する際に自分で野菜を育てて食べることができるシステムづくりに着手。2014年には無重力空間で33日間かけて栽培したレタスを収穫し、翌2015年には、収穫したレタスを宇宙飛行士が実際に船内で試食しました。現在Veggieでは、レタスよりも栽培が難しいトマトの栽培に向けた調整を進めています。

NASAは、2030年代には火星への探査を計画しています。植物工場の技術は、人類の火星探査をサポートするものとして期待されているのです。





Japanese foods

ニッポンの食材

ニッポンの食材

キャベツ

知ってた!? 身近な食材のこんなコト

トンカツに欠かせないものと言えば、千切りキャベツの付け合わせ。キャベツは、一年をとおして食卓に上り、付け合わせからメインディッシュまで、焼く、炒める、煮る、蒸す、生のまま…全ての調理法にむいている万能野菜です。そんなキャベツの知られざる秘密を探ってみましょう。



ルーツは地中海、最初は丸くなかった!

原産地は、ヨーロッパの地中海、大西洋の沿岸と言われています。栽培の歴史は古く、紀元前600年ごろにケルト人によって栽培された野生種の「ケール」がキャベツのルーツです。当時のキャベツは結球せず、約1,000年前に現在のように結球するように改良され、その後、ヨーロッパ各地に伝わってきました。栽培が始まった当初、古代エジプトでは薬用とされ、甘く煮て食べていたようです。「ケール」は、さまざまに改良されブロッコリー・カリフラワー・ハボタンなどの品種が生まれました。さらに「ケール」は、紀元前334年、古代ギリシャのアレクサンドロス大王がアジア遠征のときに兵士の食料、薬として携行され中国に渡り白菜へと進化しました。



胃の健康は、毎日のキャベツ料理から

結球する野菜のなかでもキャベツは、レタスや白菜と比べて腸の動きを整え、お通じをよくする食物繊維が豊富です。また、ビタミンCがレタスと比べて豊富なほか、ビタミンAに変換されるカロテンも多く含みます。さらに、キャベツの特徴としてビタミンUと呼ばれている栄養素が豊富に含まれています。このビタミンUは、キャベツから発見されたことから、別名「キャベジン」とも呼ばれており、傷ついた胃の粘膜を治す働きや胃酸の分泌を抑える働きがあるため、胃を守るだけでなく、胃潰瘍などの胃のトラブルを防ぐ効果があります。この効果をもとに作られたのが、おなじみの胃腸薬「キャベジン」です。



食べるよりながめて楽しむキャベツ

江戸時代前期にオランダ人によって長崎に持ち込まれたキャベツ。貝原益軒が1709年に出版した大和本草には「オランダから来た蛮種紅夷菰(おらんだな)、味よし」と記されていますが、その後しばらく食用として広まることはなく、むしろ観賞用としてハボタンを生むこととなりました。結球性のキャベツは幕末に伝わり、明治にかけて横浜周辺の居留地に住んでいる外国人向けとして栽培されていました。食用として本格的に栽培されるのは、欧米から取り寄せた種子で1872年に北海道開拓使が札幌で試験栽培を行い、1874年内務省勸業寮が東京の三田育種場で栽培を行ったのが始まりです。キャベツという名も当初は「葉牡丹(はぼたん)」「甘藍(かんらん)」「玉菜(たまな)」などと和名で呼ばれていましたが、明治後期にようやく「キャベツ」という呼び名が定着しました。キャベツの変り種といえば札幌特産の札幌大球(サッポロタイキウ)があります。1895年頃に米国から持ち込まれた品種のうち、大きく育ち日持ちする品種から育成され、普通のキャベツに比べ重さが10倍以上の10 kgを超える巨大キャベツです。

団らんレシピ♪

「レンジでチンするだけ」かつおぶしとマヨネーズ和え

栄養いっぱいのキャベツを余さず利用。加熱することでかさが減りたくさんのキャベツをサラダ感覚で食べられます。酒の肴にもオススメの一品。洗い物が少ないのも嬉しいポイントです。

材料 (2人前)

- ・キャベツ1/4個(約250g)
- ・かつお節2g
- ・塩少々
- ・しょうゆ小さじ1
- ・マヨネーズ大さじ2
- ・のり(刻み)適量



お皿に盛りつけ、刻みのりをかけ、出来上がりです。



①よく洗ったキャベツの芯を切り落とします。手で一口大にちぎり、耐熱容器に入れます。



②塩を振りかけ、マヨネーズをのせます。耐熱容器にラップをかけて電子レンジで600Wで3分間加熱します。



③しょうゆは、お好みの味の濃さで。かつお節もお好みの量を加え、よく和えます。



る〜び^{Light}
#04

<http://www.mskfm.co.jp>
多目的広場 ▶ 広報誌「る〜ぶ」





MSK FARM MACHINERY CORPORATION

エム・エス・ケー農業機械株式会社